

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和7年2月3日
函館市立旭岡中学校

1 本年度の重点教育目標

自ら考え、判断し、表現できる生徒の育成

2 本年度の取組の重点

- | | |
|------------------------|-----------------|
| ① 創意・工夫された教育課程の編成・実施 | ⑤ 家庭・地域との連携・協働 |
| ② 生徒の実態および地域性を生かした教育計画 | ⑥ 教育環境の整備 |
| ③ 学びの基礎を担保する教師力向上 | ⑦ 服務規律・接遇マナーの徹底 |
| ④ 報告・連絡・相談・確認と危機管理の徹底 | |

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価
①確かな学力を育む教育の推進	基礎的・基本的知識及び技能の定着を目指して、指導方法の工夫に努めている。	b	定期テスト前に学習キャンペーン期間を設け、基礎・基本の定着を図る。	A	A
	教科等の各領域を相互に連携させて適切に実施している。	a	一人一授業を行い各教科の横断的な視点をもって実施した	A	A
	年間指導計画の評価と指導の一体化に努めている。	a	個に応じた指導と評価の工夫を行った。	A	A
②豊かな心を育む教育の推進	全体計画に基づき、学校生活全般を通じて、道徳的実践力が育成される指導の充実に努めている。	a	行事や道徳の時間を活用し、全教員で協力して心の豊かさを育んだ。	A	A
	年間計画に基づき、教材研究を進めて、考え議論する授業にできた。	a	I C Tの効果的な活用と公開授業を行い、指導の技能を高めた。	A	A
	問題行動（いじめ等）の予防と早期発見に努め、適切に対応している。	a	早期発見・未然予防に努め、適切な初期対応をすることができた。	A	A
③健やかな体を育む教育の推進	保健指導、保健教育は計画的に行われている。	a	性の講話等外部講師を招くなど、成長に合わせた指導を行った。	A	A
	全教職員による給食指導は適切である。	a	複数教員による安全で衛生的な給食指導を行った。	A	A
	生徒指導関係(避難訓練・交通安全指導・非行防止教室等)の計画・実施は十分行われている。	a	外部機関との連携により、地域の実情や時勢に合った指導を実施した。	A	A
④学校における指導体制等の充実	学校教育目標の具現化を図る手立てを立てて教育活動を進めている。	a	全ての教育活動で、具現化を意識した取組を推進した。	A	A
	学校における業務改善に取り組んでいる。	a	業務の効率化と、教育の質の向上に取り組んだ。	A	A
	協働意欲を持って、職務の遂行に必要な報告・連絡・相談・確認に努めている。	a	情報共有を図り、組織的な校内体制づくりに努めた。	A	A
⑤家庭・地域と連携・協働した教育活動の充実	生徒や地域の課題・教育課題をふまえた学校教育目標（重点教育目標）である。	a	小・養護学校や学校運営協議会と連携し、目標達成に向け取り組むことができた。	A	A
	生徒・保護者・地域から理解と協力を得られるよう啓発活動に努めている。	a	学校・学級通信、ホームページ等を活用して情報発信を行った。	A	A
	学校運営協議会の取組を行い、学校・地域と連携した学校運営を推進している。	b	持続可能な活動内容や連携について方向性を探っていく。	A	A

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。